

意見書案第 14 号

泊原発1・2号機の再稼働と住民合意に関する意見書

上記意見書案を別紙のとおり提出いたします。

平成24年3月23日提出

提出者	長沼町議会議員	中 崎 正 司
賛成者	〃	藪 田 享

長沼町議会議長 駒 谷 広 栄 様

## 泊原発1・2号機の再稼働と住民合意に関する意見書

いま北海道と北電は、泊原発1・2号機のストレステストを終え、早期再稼働をめざしています。

しかし、ストレステストの結果だけで、安全性が保証され、再稼働の条件ができるわけではありません。

第1に、東電の福島第1原発の事故原因の徹底究明はこれからです。

福島事故の教訓に立って、新しい安全基準が確立され、審査されるべきであり、福井県知事も述べているように新基準による厳格な安全宣言がまず必要です。

第2に、巨大地震による配管亀裂の可能性が指摘されており、また、泊沖の西積丹には多くの活断層が指摘されています。マグニチュード7・8の地震も予測されています。

巨大地震による損傷が過酷な事故を引き起こすのではないかとの住民の不安は少なくありません。

何よりも、30キロ圏の住民はもとより、広い住民の理解と合意が再稼働の大前提です。

よって、政府及び北海道に対し、住民合意なしに泊原発の再稼働はしない、そして、何よりも住民の安全第一に対応することを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成24年3月23日

長沼町議会議長 駒谷広栄

提出先

内閣総理大臣  
文部科学大臣  
経済産業大臣  
北海道知事

各 通